

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	中津川市立福岡小学校		
実 施 期 間	平成26年11月6日(木)～8日(土)		
実 施 概 要	①授業公開 ・平日および土曜日 ・来年度1年生保護者にも公開 ②地域の方に感謝する会 ・お世話になっている地域の方々を招待 ③親子芸術鑑賞会 ・地元 中津川工業高校吹奏楽部による演奏		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	128	人
	地域関係者	66	人
計	194		人
実 施 状 況	①授業公開 6日、7日は2～5校時の公開にし、時間割や保護者の都合と照らして参観できるようにした(17名の来校)。また来年度就学する保護者にも声かけをし、3名の来校があった。 8日は5校時を公開した。土曜参観だったので、ほとんどの保護者が来校した。		
	②地域の方に感謝する会 日頃お世話になっている地域の方々(子ども110番の家、見守り隊、公民館、駐在所等)を招いて、児童から感謝の気持ちを表す集会を行った。66名の地域の方の出席があり、感謝の言葉を伝えたり、歌を贈ったりした。地域の方々と対面する隊形で行ったので、お互いの表情を見合いながらできた。代表の方からの温かい励ましの言葉がけもあり、和やかな心の交流ができた。		
	③親子芸術鑑賞会 PTA主催で開催。中津川工業高校吹奏楽部を招き、生の演奏を肌で感じる機会となった。児童、保護者、地域の方々が、それぞれの受け止め方で楽しいひとときを過ごした。児童とは年齢が近い高校生たちによる演奏だったので、親しみがわき、しかも高い文化に触れることで、有意義な会となった。		

成果及び課題

①授業公開

「教室内が生き生きとしていて、みんなが発言していました。来年中生です。正直ついて行けるか心配です。でも、しっかりがんばれるといいなと思います。よろしくお願いします。(来年度就学する子の保護者)」という感想をいただいた。不安感をもつ新1年生の保護者に現1年生の授業を見てもらうことで、少しでも不安が払拭されたり、参考になったりするとい。参加は少なかったが、見通しをもってもらうためのいい機会なので、来年度も継続したい。

授業の公開日を平日と土曜日の3日間設けたことで、保護者131人中128人の参観があった。ご夫妻での参観もあり、実数はもっと多い。

②地域の方に感謝する会

多くの地域の方々に見守られながら、またお世話になりながら、安心安全な学校生活を送ることができているという意識を児童が再認識することができた。代表が話をしたり全校で歌ったりと、間接的な交流なので、内容を工夫したい。

③親子芸術鑑賞会

本物に触れることで、心が豊かになる。しかも親子で同じものに触れるということは親子の対話をより深くする。感想を書いて提出してもらったが、どれも高い文化に触れたことへの喜びや感動が綴られていた。今回は親さんに感想を書いてもらったが、親子で感想を交流した足跡として、親と子が1枚の感想用紙の中で思いを書き留め合うということを取り入れていきたい。

また、今回は地元の高校にお願いしたことで、ふるさとの高校のよさに触れることにもなった。本校の卒業生もおり、あこがれをもつことにもつながった。

本校の教育週間は、日頃の姿を見てもらうのにはいい機会となっているし、地域との交流、文化とのふれあいという点でも、いい機会となっている。しかし、様々な分野での学校の取組を公開するという点では弱さがある。「ふるさと教育週間」をとらえ直し、本校では何ができるのかを考え直し、来年度の取組に生かしたい。